

▽発信元・お問い合わせ先はこちら
「人材ビジネスの発展を通じてヒトの成長を追及する」
株式会社ヒューマンビジネス・コンサルティング
TEL : 03-6909-8644/0120-973-644
E mail:info@hb-consulting.jp

派遣切り先陣のトヨタ九州、生産回復備え雇用維持へ

トヨタ自動車九州(福岡県宮若市)が、派遣社員を直接雇用に取り替える検討を進めている。早ければ6月に契約期限を迎える派遣社員から順次期間従業員や準社員として再契約する。同社は昨夏、800人の派遣社員を削減し「派遣切り」の先がけとなったが、今後の生産回復をにらみ雇用維持にかじを切った形だ。

対象となるのは生産に携わる約1000人の派遣社員。ほとんどが8月までに派遣期間が満了するが、その際、派遣会社と契約を更新せず直接雇用する。さらに適性を見た上で社員に登用することも検討している。雇用人数は未定。

トヨタ九州は昨夏の派遣削減後も大幅な減産を強いられ人員の余剰を抱えていた。しかし、減産で在庫が着実に減り4月以降は減産が緩和される見通し。同月には1月からやめていた夜勤を復活させるほか、新車投入の計画も進んでいる。

このため直接雇用には、今後の生産回復に備えて一定の労働力を確保する狙いがあると見られる。加えて、直接雇用で賃金が上がる可能性があり、生産意欲を高める効果も期待される。

ただ、派遣社員を内部に取り込むことで雇用の「調整弁」は機能しなくなる。自動車の本格的な需要回復はまだ不透明で、仮に需要低迷が長引けば、組織の肥大化が収益を圧迫する懸念もある。

(2009年3月4日 読売新聞)